KTC
KYOTO TOOL

このたびは、オイルドレーナー（No.GOD80E）をお買い上げいただきありがとうございます。本製品をより安全・適切にご使用して頂くために、取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。

業務用

オイルドレーナー
No.GOD80E
取扱説明書

安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

⚠	拡大被害が予想される事項	⃠	禁止行為
❗	必ず行う	確認	確認行為

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

- ●第三者に譲渡、貸与される場合もこの説明書を必ず添付してください。
- ●この説明書は大切に保管してください。
- ●本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社お客様窓口にご連絡ください。

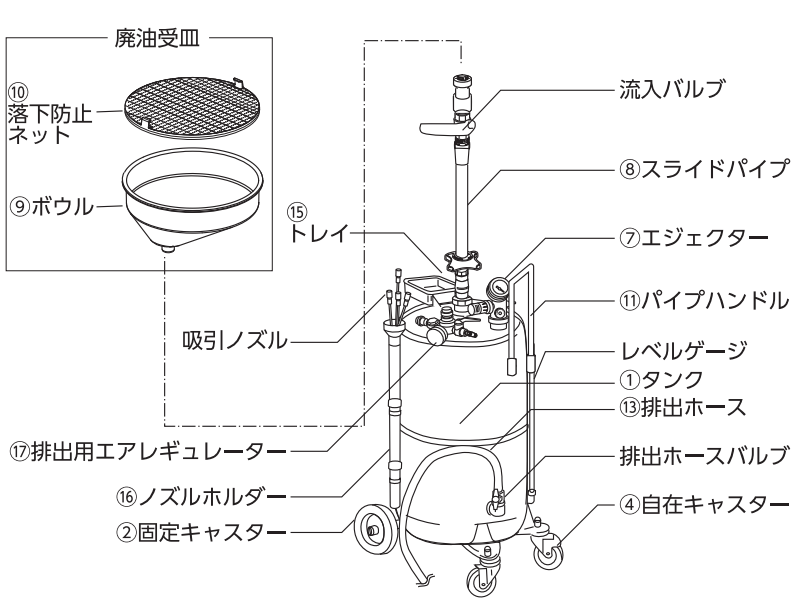
⚠警告（けいこく） 死亡や重傷の原因となる。

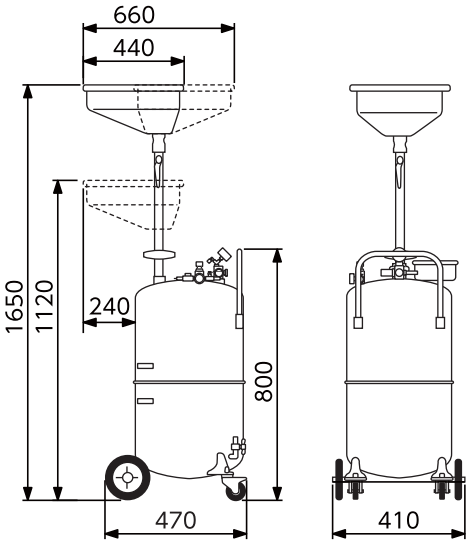
絵表示	重要事項	危害・損害
❗	●必ず平らで傾斜の無い場所に設置する。	不安定な場所での使用は製品が倒れるなどしてケガや器物破損のおそれがある。
❗	●保護めがね作業用手袋など安全具を使用する。	高温のオイルを抜きとる際には保護具を使用すること。ケガのおそれがある。
❗	●可燃性の高いガソリン・シンナー・ベンジン、腐食性の高いブレーキフルード、ＬＬＣ、薬品などは吸引しない。	本体が破損しケガや器物破損のおそれがある。

⚠注意（ちゅうい） ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害	絵表示	重要事項	危害・損害
⃠	●分解・改造をしない。	器物損傷の原因になる。加熱加工した場合には本来の性能を発揮することができない。	❗	●保守、点検をする。	●各部の締め付けボルトやナットを点検し、緩みがある場合は締めなおす。 ●ホースやタンクに亀裂や変形がある場合は使用を中止する。
⃠	●高温、多湿な場所では使用しない。	破損の原因になる。	⃠	●焼却廃棄をしない。	廃棄は各自治体の廃棄方法に従う。
⃠	●化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	破損の原因になる。	⃠	●タンク内を加圧した状態で放置しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
⃠	●表示ラベルをはがさない。	ケガや器物損傷の原因になる。	⃠	●車載用として使用しない。	破損の原因になる。
⃠	●水のかかる場所で使用しない。	破損の原因になる。	❗	●組立時に周囲の安全を確保する。	ケガや器物損傷の原因になる。

製品寸法・名称





品番	タンク		廃油受皿		キャスター径		入力用エアカプラ	吸引ホース外径・長さ	排出ホース内径・長さ	排出方法	重量
	全容量	有効容量	容量	サイズ 外径 x 高さ	前方 (自在)	後方 (固定)					
GOD80E	80ℓ	62ℓ	12ℓ	440 x 160	φ80	φ150	日東工器 20PM	φ19・2m	φ19・2m	エア加圧式	29kg

梱包内容

No	品名	員数	No	品名	員数
1	タンク	1	11	パイプハンドル	1
2	固定キャスター	2	12	パイプハンドル用六角穴付きボルト	2
3	固定キャスター用Cリング	2	13	排出ホース	1
4	自在キャスター	2	14	排出ホース取付けバンド	1
5	自在キャスター用ワッシャー	2	15	トレイ	1
6	自在キャスター用袋ナット	2	16	ノズルホルダー	1
7	エジェクター Assy+吸引ホース（赤）	1	17	排出用エアレギュレーター	1
8	スライドパイプ	1	18	排出用エアレギュレーターOリング	2
9	廃油受皿（ボウル）	1	19	取付けボルト	1
10	廃油受皿用落下防止ネット	1	20	取扱説明書	1

付属吸引ノズル	品番	員数
吸引ノズルフレキシブルφ5x700	GOD-5x700F	1
吸引ノズルフレキシブルφ6x700	GOD-6x700F	1
吸引ノズルフレキシブルφ8x700	GOD-8x700F	1
吸引ノズルフレキシブルφ7X1000	GOD-7x1000F	1
吸引ノズルメタル　φ5x700	GOD-5x700M	1
吸引ノズルメタル　φ6x700	GOD-6X700M	1
吸引アダプタ　VW用	GOD-ADA	1
吸引アダプタ　BMW用	GOD-ADB	1

適用

■軽自動車から普通車及び２ｔトラックまで。

保管方法

■エアホースは取り外し、吸引ホースを巻き取りハンドルにかける。
■吸引ノズルはホルダーに収納する。
■長期間保管する場合はタンク内に廃油を残さない。
■保管は平らな場所で行う。

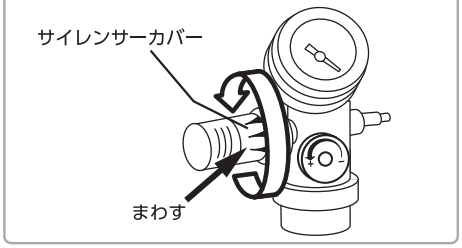
タンク内を加圧した状態で保管しない。

メンテナンス

■定期的にエジェクターのサイレンサーカバーを取り外し汚れを取り除く。

サイレンサーカバーの清掃は定期的に行う。清掃を怠ると負圧不足の原因や廃油ミストが噴き出すことがある。

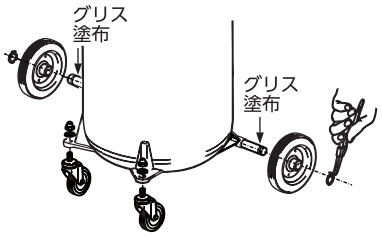
<メンテナンス：サイレンサーカバーの取り外し>



組立方法

①キャスターを取り付ける。

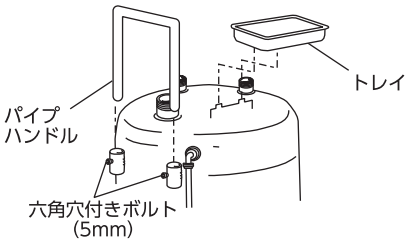
・タンク後方のシャフトに固定キャスターをCリングで取り付ける。
・前方の穴位置に自在キャスターを袋ナットで取り付ける。



確認 固定キャスターの動きがスムーズでない時はしゅう動部にグリスを塗布する。

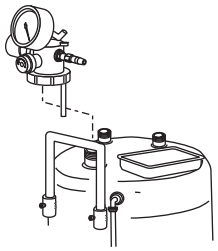
②パイプハンドルとトレイを取り付ける。

・パイプハンドルは六角穴付きボルト (5mm) で固定する。
・トレイをタンク上部に取り付ける。



③エジェクターAssyを取り付ける

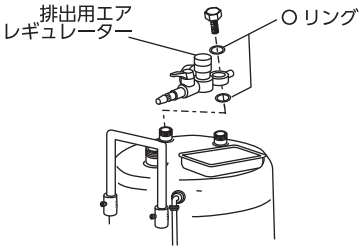
・エジェクターAssyをタンク前側 (パイプハンドル取付側) に取付け、リングナットをパイプレンチ等で締付けて固定する。



! エジェクター Assy のリングナットはパイプレンチ等でしっかり締めこむ。

④排出用エアレギュレーターを取り付ける。

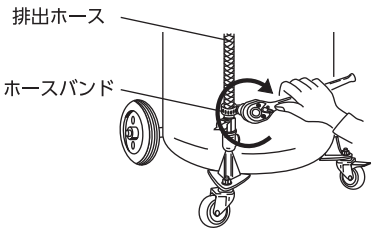
・排出用エアレギュレーターを付属のボルト (二面幅20mm) とOリングを使用して取り付ける。



確認 レギュレーター取り付け時に O リングを切らないようにする。

⑤排出ホースを取り付ける。

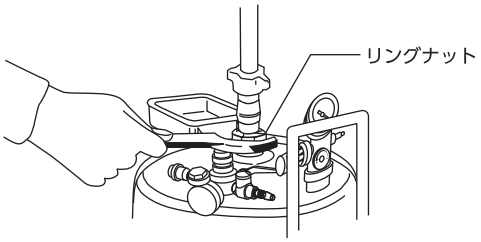
・タンク底部にある排出ホースバルブに排出ホース取り付けバンドで排出ホースを取り付ける。(二面幅7mm)



! 廃油が漏れないように、ホースバンドをしっかり締めこむ。

⑥スライドパイプを取り付ける。

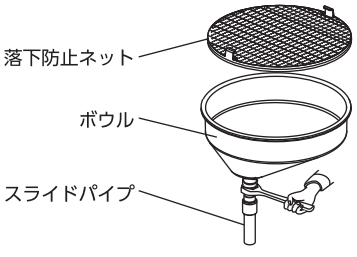
・スライドパイプをタンクに取り付ける。



! スライドパイプのリングナットはパイプレンチ等でしっかり締めこむ。

⑦廃油受皿を取り付ける。

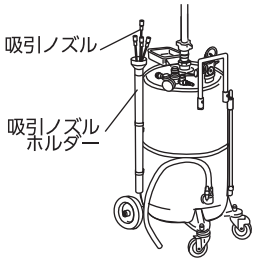
・スライドパイプにボウルをねじ込み、レンチを使用して固定する。
(パイプ側ナット二面幅38mm)
・落下防止ネットをボウルに入れる。



! ・ボウルはレンチ等を使用し確実に固定する。
確認 ・廃油受皿が上下しにくい場合は、スライドパイプしゅう動部にエンジンオイルを少量塗布する。

⑧ノズルホルダーを取り付ける。

・タンク側面にノズルホルダーを取り付け、各吸引ノズルをホルダーに入れる。



使用方法

■「廃油下抜き作業」時の使用方法

○廃油受皿高さ調整

1.水平で安定した場所にオイルドレーナーを置く。

2.廃油受皿が落下しないよう手で保持する。(図1)

3.ダイヤルナットを緩める。

> ダイヤルナットをゆるめる際には必ず廃油受皿を保持する。

4.ドレンプラグの位置に合わせて廃油受皿の高さを調整する。

5.ダイヤルナットを締めて、スライドパイプの動きを固定する。

> ・高さ調整は、廃油受皿を保持して行う。
> ・ダイアルナットが確実にしまっていることを確認する。

○廃油を受ける

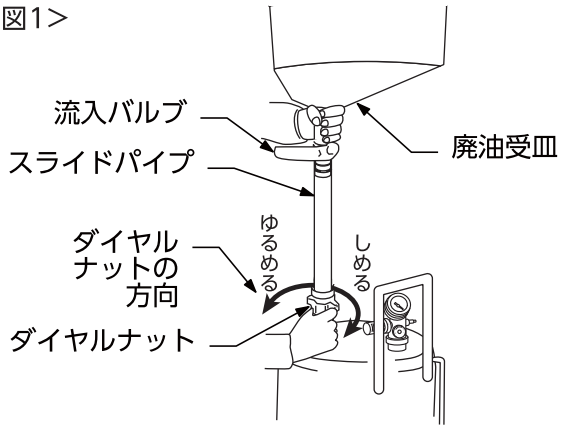
6.流入バルブが開いている事を確認する。(図2)

7.排出用エアレギュレーターのバルブが開いてあることを確認する。
(図3:エア抜きの為)

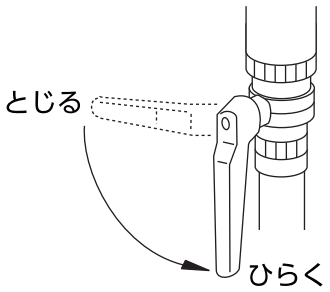
8.ドレンプラグの位置、方向を確認し、ドレンプラグをゆるめ取り外す。

> ・タンクのレベルゲージ STOP ラインより多く廃油を入れない。
> ・廃油受皿にオイルフィルタ等を置かない。

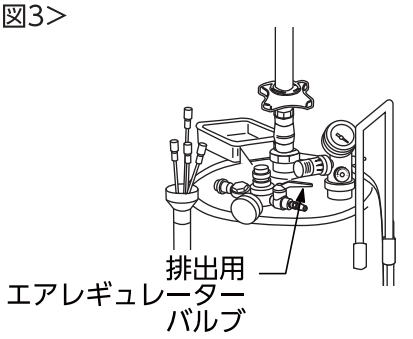
<図1>



<図2>



<図3>



■「廃油上抜き作業」時の使用方法

○抜き取りの準備

1.水平で安定した場所にオイルドレーナーを置く。

2.ダイヤルナットをゆるめ廃油受皿を上限いっぱいまで引き上げる。
(スライドパイプの連結部がカチッという)(図4)

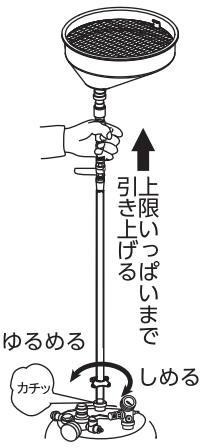
3.流入バルブ、排出ホースバルブ、吸引ノズルバルブ、排出用エアレギュレーターのバルブを全て閉る。(図5)

4.エアホースをエジェクターへ接続する。

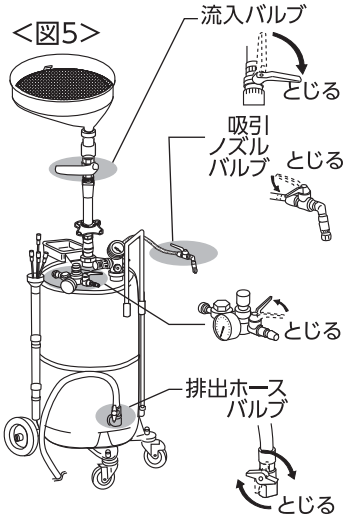
5.エジェクターのダイヤルを左回転(反時計回り)いっぱいに回す。(図6)

6.エジェクターの真空計がグリーンゾーンに到達した事を確認する。(図7)

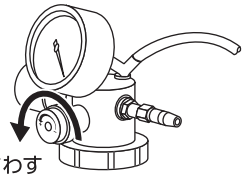
<図4>



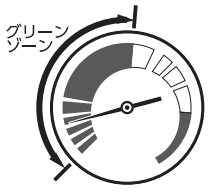
<図5>



<図6>



<図7>



確認

- エジェクターは0.6～0.7MPa(6～7kgf/㎠)付近で最高効率にとなります。
- 端末のエア圧が低い場合はグリーンゾーンへ到達しない場合があり、その状態で使用すると吸引時間が長くなります。
- 端末のエア圧力が高い場合も低い場合と同じ症状になる為、エアレギュレーターを使用して圧力を0.6～0.7MPaに調整して下さい。

<推奨エアレギュレーター>

メーカー名	品　番	メーカー名	品　番
SMC	ARX20-02	黒田精工	P32RA
	G46-10-02 (メーター)		G10-42 (メーター)

使用方法

■「廃油上抜き作業」時の使用方法

○抜き取りの作業

1.作業を行うエンジンのオイルフィラーキャップを外す。

2.レベルゲージを抜く。

3.吸引ノズルを選択する。

確認	レベルゲージの首下長さとガイドパイプの内径から、最適なサイズを選ぶ。

4.レベルゲージのガイドパイプに吸引ノズルを挿入する。(図8)

確認	・吸引ノズルをレベルゲージの首下長さより５ｃｍほど長く挿入する。
	・吸引ノズルを少しづつ出し入れや回転させながら、オイルパンにコツコツと当たる位置で止めます。(必ずレベルゲージの首下長さより５ｃｍほど入っているのを確認する)

5.吸引ホースのノズルキャップを外し、吸引ノズルと吸引ホースを接続する。

6.吸引ホースバルブを開き、吸引開始。

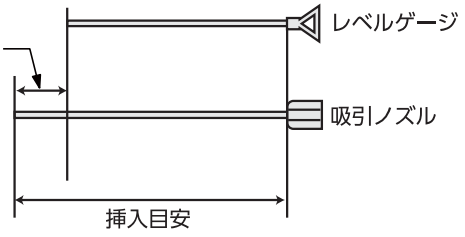
!	・吸引シリンダーレベルゲージのSTOPラインより多く廃油を入れない。
確認	・吸引ノズル内を気泡が流れ始めたら、吸引ノズルをゆっくりと±５ｃｍ程度出し入れと吸引ノズルを回転し、吸い残しがないか確認する。
	・吸引ノズル先端を動かして、再度廃棄を吸引し始めたら、その位置で吸引ノズルを止め、作業を続ける。

7.吸引が終了したら、吸引ホースバルブを閉じ吸引ノズルと分離してノズルキャップを装着する。

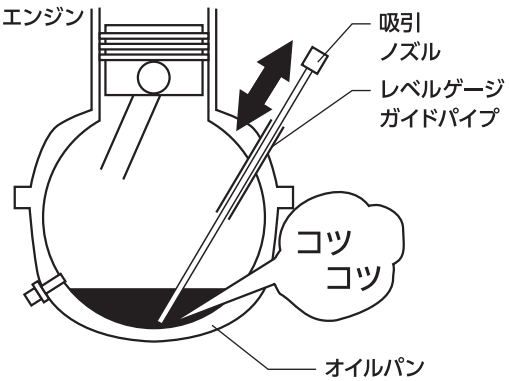
8.吸引ノズルを抜き、レベルゲージをガイドパイプに戻す。

!	・「吸引ノズルメタル」は容器（ペール缶等）からの抜き取り専用です。エンジンには挿入しない。
	・サイズのあわない吸引ノズルを無理にレベルゲージのガイドパイプへ挿入しない。
	・吸引ホース、ノズルがエンジンの排気管等高熱にさらされないようする。
確認	・エンジン構造、吸引ノズルの曲がり具合により、全量を吸引出来ない場合がある。

<図8>



<底当たりした状態>



■廃油排出の方法

○排出の準備

1.ダイヤルナットをゆるめ廃油受皿を上限いっぱいまで引き上げる。
（スライドパイプの連結部がカチッという）(図9)

2ダイヤルナットを締めて固定する。

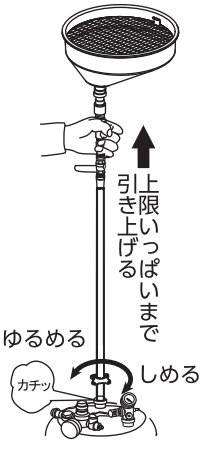
3.流入バルブ、排出ホースバルブ、吸引ノズルバルブ、排出用エアレギュレーターのバルブを全て閉る。(図10)

4.エジェクターのダイヤルを右回転（時計回り）いっぱいに回す。(図11)

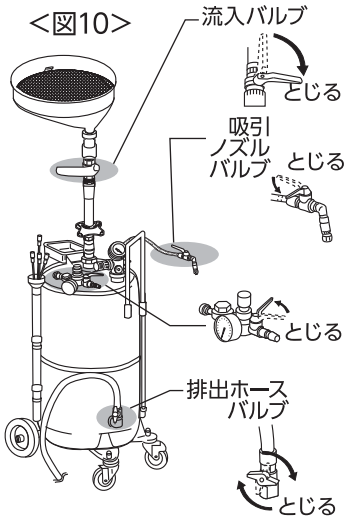
5.排出ホースのノズルキャップを抜き、排出先へ挿入する。

確認	・排出先（ドラム、廃油層等）の空き容量が十分か確認する。
	・ノズルキャップを外す際、廃油がタレ無いようウエス等を当てる。

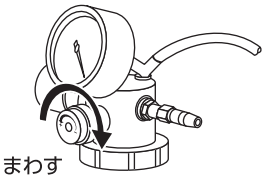
<図9>



<図10>



<図11>



使用方法

■廃油排出の方法

○排出する

1.エアホースを排出用エアレギュレーターに接続する。(図12)

2.排出ホースバルブを開く。(図13)

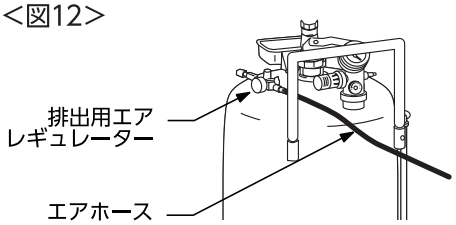
3排出ホースが排出先（ドラム、廃油層等）から外れないよう手で保持する。
(図14)

4.排出用エアレギュレーターのバルブをゆっくり開ける。(図15)
排出ホースはタンクの底まで伸びたパイプに接続されており、タンクレベルゲージより下の廃油も排出することができる。

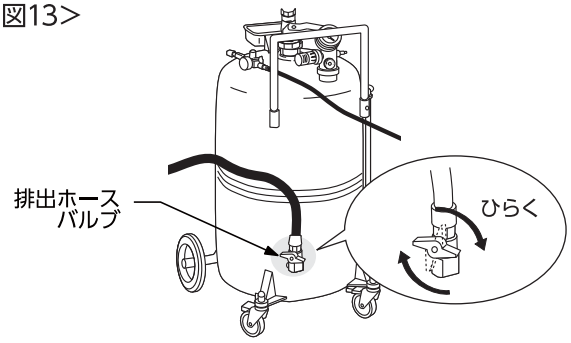
5.排出が終了したら排出用エアレギュレーターのバルブを閉じる。

6.エアホースを外し排気音が停止してから、排出ホースバルブを閉じる。

<図12>

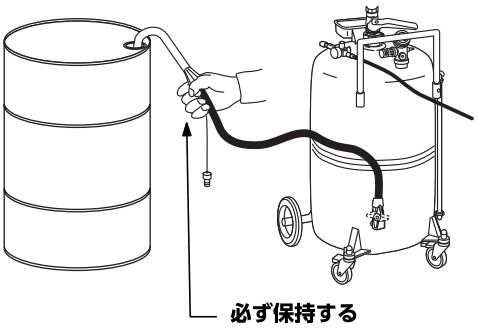


<図13>



❗	・排出手順を必ず守る。 ・減圧後の入力空圧（空圧系表示圧）は1ｂａｒ（0．1Mｐａ、1ｋｇｆ/㎠）以下で使用する。 ・ドレーナータンク内の廃油が空になる（排出終了）寸前に、廃油と圧送空気が混合して排出され、排出ホースのノズルが振動します。排出中は必ず排出ホースを保持する。 ・緊急に排出を停止したい場合は排出ホースバルブを閉じる。 ・廃油排出終了後は排気音が停止するまで流入バルブを開けない。 ・作業終了後、ホース類はこすれない様に巻き取って固定する。
確認	・廃油排出速度は廃油温度により変化します。廃油が冷えている時には排出の時間が掛かる事がある。

<図14>



■移動方法

1.スライドパイプのダイヤルナットをゆるめ、廃油受皿を下限まで降ろす。

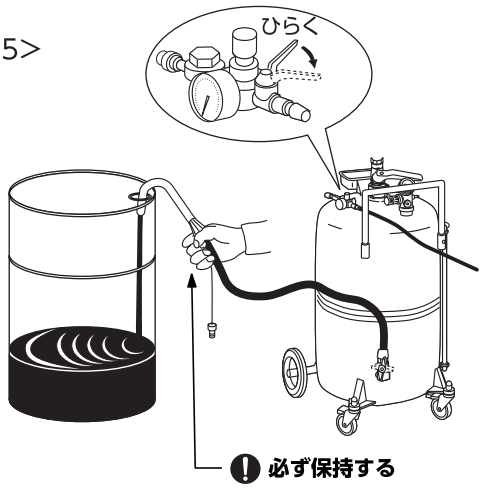
2.吸引ホース及び排出ホースをパイプハンドルにかける。

3排出ホースが排出先（ドラム、廃油層等）から外れないよう手で保持する。

4.パイプハンドルを持って、押して移動させる。

❗	・移動時は廃油受皿が動かないように、ダイヤルナットで確実に固定する。 ・移動時は必ずパイプハンドルを持って移動する。

<図15>



トラブルチェックポイント

本来の性能が得られなくなった場合は次の要領で確認して下さい。

Q　真空計の針がグリーンゾーンに達しない。

A　空気を吸っていることが考えられますので下記の点を確認する。
- 吸引ホースの吸引ノズルバルブを確実に閉じる。
- タンクの残量レベルゲージや吸引ホースのつなぎ目が緩んでいることが考えられる。
- スライドパイプが上限まで上がっていない。

A　入力エア圧が不適切である場合が考えられる。
- 推奨エアレギュレーター（※）を使用し入力エア圧力を 0.6 ～ 0.7Mpa（6 ～ 7kgf/cm2）に調整する。
  ※推奨エアレギュレーターについては「廃油上抜き作業」時の使用方法：○抜き取の準備（4 ページ）を参照。

Q　真空計の針がグリーンゾーンに達したが、「廃油を吸引しない」または「吸引に時間がかかる」。

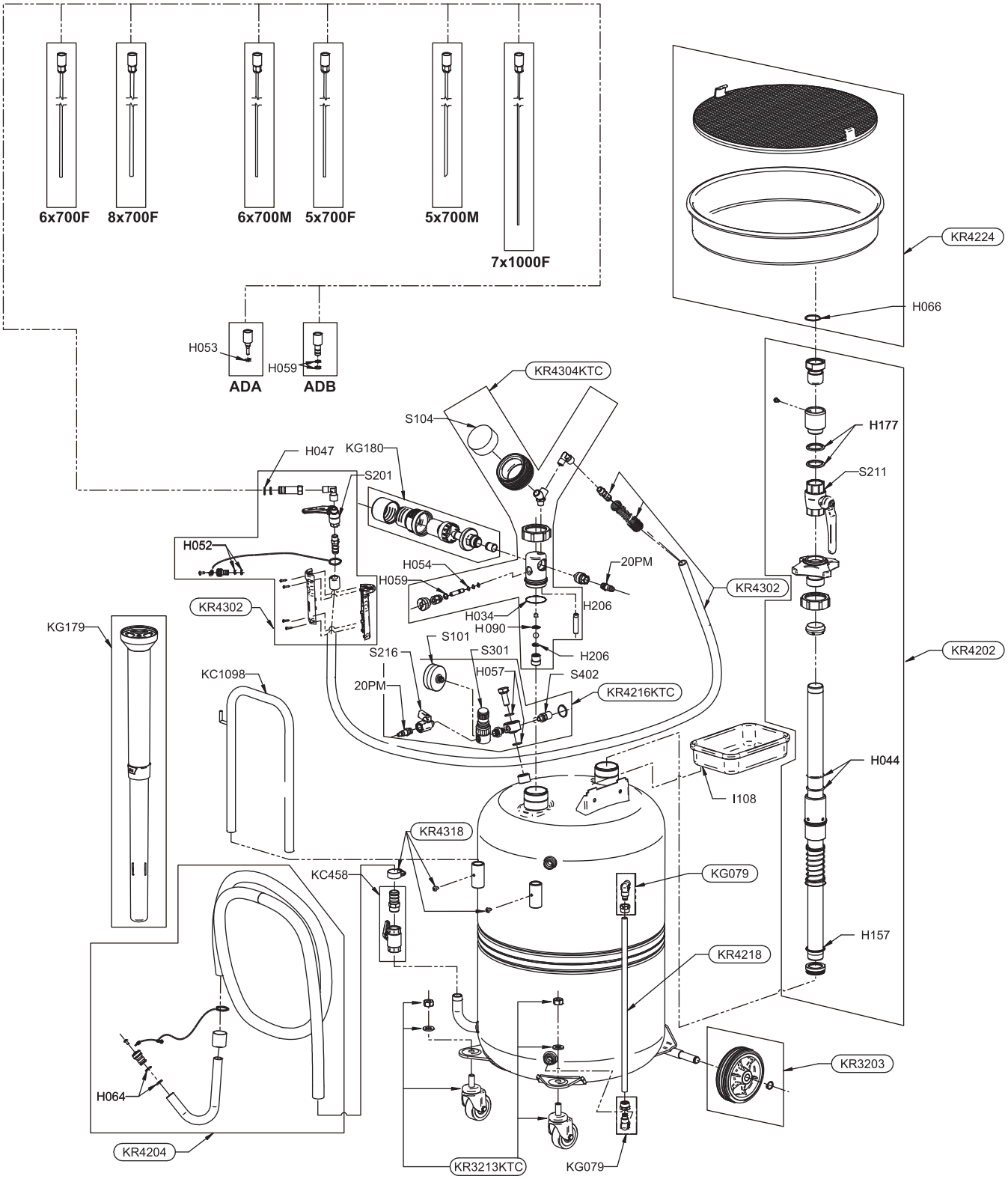
A　吸引ノズルやエジェクターのサイレンサー部、カプラ部に異物が詰まっていることが考えられる。
- エアブロー等で清掃して下さい。

A　オイルが硬いことが考えられる。
- 特に冬期はエンジンオイルの粘度が硬くなり、吸引に時間がかかります。作業を行う前に水温が安定するまで暖機運転した後、エンジンを止めて作業をする。

補修部品

補修部品は必ず KTC 純正品を使用する。

※部品ず内の品番は全て GOD-XXXXXX です。スペースの都合上「GOD-」を省略しております。



部品名称	部品品番	員数	部品名称	部品品番	員数	部品名称	部品品番	員数
アダプターA	GOD-ADA	1	排出ホース Assy	GOD-KR4204	1 組	Oーリング	GOD-H034	1
アダプターB	GOD-ADB	1	排出用ホース用ホースバンド	GOD-KR4318	1 組	Oーリング	GOD-H044	2
フレキシブルノズル 5x700mm	GOD-5X700F	1	レベルゲージパイプ（80 L タンク用）	GOD-KR4218	1	Oーリング	GOD-H047	2
フレキシブルノズル 6x700mm	GOD-6X700F	1	吸引ホース Assy	GOD-KR4302	1 組	Oーリング	GOD-H052	2
フレキシブルノズル 7x1000mm	GOD-7X1000F	1	サイレンサーAssy	GOD-KG180	1 組	Oーリング	GOD-H053	1
フレキシブルノズル 8x700mm	GOD-8X700F	1	エジェクターAssy	GOD-KR4304KTC	1 組	Oーリング	GOD-H054	1
メタルノズル 5x700mm	GOD-5X700M	1	自在キャスターφ80（ナット付）	GOD-3213KTC	1 組	Oーリング	GOD-H057	2
メタルノズル 6x700mm	GOD-6X700M	1	エアレギュレーター用バルブ	GOD-S201	1	Oーリング	GOD-H059	3
エアカプラ	GOD-20PM	2	排出用エアレギュレーター用バルブ	GOD-S216	1	Oーリング	GOD-H064	2
トレイ	GOD-I108	1	流入バルブ	GOD-S211	1	Oーリング	GOD-H066	1
排出ホースバルブ Assy	GOD-KC458	1 組	空圧計	GOD-S101	1	Oーリング	GOD-H090	1
パイプハンドル（ストレート）	GOD-KC1098	1	真空計	GOD-S104	1	Oーリング	GOD-H157	1
レベルゲージエルボ Assy	GOD-KG079	2 組	エアレギュレーター	GOD-S301	1	Oーリング	GOD-H177	2
ノズルホルダー	GOD-KG179	1	安全弁	GOD-S402	1	Oーリング	GOD-H206	1
固定キャスターφ150（スナップリング付）	GOD-KR3203	1 組	レギュレーターAssy	GOD-KR4216KTC	1 組			
ボウル+落下防止ネット	GOD-KR4224	1	スライドパイプ Assy	GOD-KR4202	1 組			

KTC®
KYOTO TOOL

製造国：イタリア 販売者の名称・所在地： **京都機械工具株式会社** 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地 製品情報 http://ktc.jp/

お客様窓口
☎(0774)46-4159 FAX (0774)46-4359
E-mail：support@kyototool.co.jp
電話受付時間：9:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
（土・日・祝祭日及び弊社休業日除く）

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記支店までお寄せください。
支　店 ☎ 東　京　(03)3752-2261　名古屋　(052)882-6671
近　畿　(0774)46-3711

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

T6314-0.12.11.KTC